

令和2年度 第1回大阪市地方独立行政法人天王寺動物園評価委員会 議事要旨

■開催日時：令和2年6月22日（月）15:30～17:40

■開催場所：天王寺動物園 レクチャールーム

■出席者：

（委員）

植田 麻衣子	植田公認会計士事務所 所長
佐藤 哲也	神戸どうぶつ王国 園長
佐渡友 陽一	帝京科学大学生命環境学部 講師
高瀬 孝司	オフィスT 代表（委員長）
豊島 ひろ江	中本総合法律事務所 弁護士

（大阪市）

有坂 智裕	天王寺動物公園事務所長
牧 慎一郎	天王寺動物園長
今西 隆和	天王寺動物園副園長 兼 天王寺動物公園事務所飼育担当課長
横山 健太郎	天王寺動物公園事務所管理課長
中井 康成	動物園改革担当課長
安福 潔	天王寺動物公園事務所保健主幹

外4名

【議事要旨】

1 開会

- (1) 天王寺動物公園事務所長あいさつ
- (2) 委員紹介
- (3) 委員長の選出・職務代理者の指名
 - ・高瀬委員が委員長に選出された。
 - ・佐藤委員が職務代理者に指名された。

2 事務局より資料説明と委員意見

- (1) 天王寺動物園の地方独立行政法人化について
資料2をもとに事務局より説明
- (2) 大阪市地方独立行政法人天王寺動物園評価委員会について
資料3をもとに事務局より説明
- (3) 地方独立行政法人天王寺動物園中期目標（案）について
資料4、5をもとに事務局より説明

<意見>

- ・第2の1（1）「計画的な動物の導入・確保による展示動物の充実」は、動物園の運営の根幹をなす部分である。展示物の収集そのものが困難となっており、国内連携だけでなく国際連携を行い、展示動物の充実を図る必要がある。（佐藤委員）
- ・動物福祉は世界的にも重要視されており、福祉というのはこれから世界的にも動物園、水族館がテーマとして掲げる必要があるものである。動物福祉環境の充実は、展示動物の充

実にも大きくかかわってくる重要な取り組みであるが、現状の中期目標案で言及されているので、今後も積極的な取り組みを期待している。(佐藤委員)

- ・現状、動物園の魅力と動物福祉を分けているが、実際はそれぞれに密接につながっていると考えられる。(佐藤委員)
それぞれの項目が相関関係にあるため、中期目標案において相関関係が明確に分かれればよいと考える。(高瀬委員)
- ・動物福祉に力を入れることにより、結果として魅力的な展示になる。動物を大切に扱っているという事実が周知されることで、ただ単に来園者数が増加するだけでなく、支持層の増加にもつながるため、引き続き実施してもらいたい。(佐渡友委員)
- ・天王寺動物園は市民に愛されている動物園かつ大阪市の真ん中にある動物園ということで、市民に愛されている天王寺動物園ならではの中期目標案を検討してもらいたい。(豊島委員)
- ・ファンドレイジングの中でもクラウドファンディングは対価性が高いものだが、こういった取り組みをきっかけとして裾野を広げることで、支持者の増加等が期待できる。盛岡市動物公園のような長期的な仕掛けとして、天王寺動物園でも単発的なイベントだけでなく、長期的なイベントを計画し、PRしてはどうか。(佐渡友委員)
- ・現在、「天王寺動物園教育ポリシー」を定めており、その中に「行動変化を促し」とのキーワードがあるが、中期目標の第2の2では行動変化に関する記載が不足しているのではないかと。具体的には前文に「市民等の環境保全意識の向上を図る」と記載しているが、「向上」をどのようにして評価するかが問題となる。昔はボランティアや団体活動といったことをしていたが、これらは時間を要するため、現在は寄付をどのようにして使っていくかが重要視されている。したがって教育の評価指標として寄付の視点を織り込むのもよいと考える。(佐渡友委員)
- ・第4の1「収入の確保」、第4の2「経費の削減」について、現在は一般的な記載しかなく、独法化した天王寺動物園特有の具体的な改善事項を記載してもらいたい。(植田委員)
- ・法人としてのインセンティブ及び職員個人のインセンティブに関する記載が現在の中期目標案では、十分でないとする。(佐渡友委員)
- ・業務運営の改善及び効率化に関する事項に関して、誰がリードするのかといった具体的な記載がない。実際にファンドレイジングを実施するには、広報・事業・資金等を一体的に運用するコーディネーターが必要であり、経験がない職員では困難であり、ファンドレイジングを実施するための人材確保が課題となる。(佐渡友委員)
- ・第3の2「人材の確保・育成と職員の能力向上・意欲喚起」において、新しい人材の確保に関する目標の記載はあるが、既存職員に関する目標の記載も必要と考えている。(豊島委員)
- ・外部収入は重要な要素であり、動物園は博物館と比較してファンドレイジングが実施しやすい環境である。(佐渡友委員)

- (4) 今後のスケジュールについて
資料6をもとに事務局より説明

3 閉会